



学校だより *Fuzoku*

宮城教育大学附属特別支援学校

令和2年4月8日(水) No. 1

教育目標

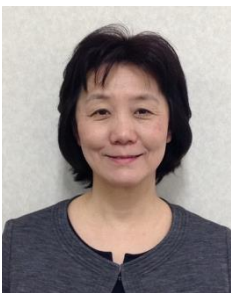
- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353 FAX 022-214-3362

E-mail : tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp URL : <http://tokushi.miyakyo-u.ac.jp>

自然とともに

校長 高田 淑子



附属特別支援学校のみなさん、
元気で過ごしていますか？

附属特別支援学校の桜も見事に咲き誇り、校庭の周りは淡くさくら色に染まっています。台風や地震があろうが、ウィルスが蔓延しようが、何食わぬ顔で

何万年と毎年同じように四季が巡る青葉山。この自然に対し、私たち一人一人の人間はちっぽけな存在ですが、自然の節理にあらがうことなく、しなやかに適応し進化を遂げた人類の偉大さに驚嘆せずにはられません。

今般の新型コロナウイルス感染症の影響で、4月からの学校再開がかなわず、皆さんと直接お会いできないのは残念ですが、安心安全のもと命を大切に、令和2年度、小学部3名、中学部6名、高等部9名、全18名の新入生、小学部1名の転入生を迎え、総勢61名のみなさんと、共に学び成長していきましょう。

さて、この季節、日暮れ時、南西の空高く、一番星の金星が一際輝いて見えています。望遠鏡で見ると金星は日に日に明るさや形を変えていくのがわかります。子供たち一人一人が一番星のように各々の姿で輝ける学校生活を過ごせますよう、私共教職員一丸となり努力する所存です。

本年度は新たに門脇副校長をはじめ、7名の教員が私たちチームに加わりました。

子供たちをはじめ、保護者の皆様、そして、新メンバーを含む教職員一同、一致団結し「**チーム附特**」として、令和の「**子供たちのための附特**」を構築できますよう、今年度も引き続きご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最善を尽くします

副校長 門脇 恵



令和2年4月から副校長として宮城教育大学附属特別支援学校でお世話になることになった門脇恵です。3月まで宮城教育大学キャリアサポートセンターで学生の皆さんの就労支援を担当しておりました。

実を申しますと、昭和62年度から平成9年度までの11年間、小学部、高等部、進路指導主事として在任しておりましたので、約20年ぶりの再登板ということになります。

着任して早速、校内を回ってみました。体育館、校舎はすっかりリニューアルされ、私がいた当時に比べるとピカピカで快適かつ機能的になっておりびっくりしました。ここで学習に取り組む児童生徒の皆さんは毎日楽しい学校生活を送っているのだろうとうれしく思いました。そんな中、階段の手すり、屋上への上り口スペース、そして池は当時の趣が感じられなんとなくジーンとした思いがよみがえり、とっても懐かしい気持ちになりました。

50周年記念事業座談会「これからの50年」でも話題にさせていただきましたが、附属特別支援学校は児童生徒、保護者、そして教職員のチームワークが抜群で「夢をかなえてくれる学校」です。“本人には自信を、そして保護者には安心を”もモットーに、子供たち一人一人の“夢”，保護者の皆様の“ねがい”に応えられるよう最善を尽くしてまいります。

